



情報教育先端事例 **QRコードは裏表紙へ**
紹介特設webサイトがOPEN!!

特集1

卒業生としての誇りを胸に
充実した学生生活を

特集2

寝屋川キャンパス大規模リニューアル進捗レポート

OECU Club & Circle

大学 男子バスケットボール部

高校 メカトロニクス部

・NEWS & TOPICS
・記念事業募金

・受賞報告
・人事異動



男子バスケットボール部からのメッセージ

いろんな学科の先輩がいるので、バスケ以外のことも何でも相談できる環境です。勉強と両立しながらいっしょに汗を流しましょう！興味があればぜひ見学にきてください。

男子バスケットボール部

大学の男子バスケットボール部は、部員22人。四條畷キャンパスの体育館で火・金曜日の17:00~21:00と土曜日は自主練で10:00~14:00に活動しています。「関西学生バスケットボール連盟」に所属し、3部昇格を目標に練習に取り組んでいます。4月の「関西学生バスケットボール選手権大会」と8月の「関西学生バスケットボールリーグ戦」に向け、チームを強くするために、主将の坂吉祐哉さん(情報通信工学部情報工学科3年生)を中心にさまざまな練習メニューを実施。

部として心がけていることを聞くと、「チームワークが勝利に結びつくので、試合に勝つため一人ひとり考えながら練習を重ねるとともに



練習中もコミュニケーションを大事にしています」と話してくれました。

レイアップシュートやパスキャッチからのシュート、スリーポイントなど様々なシュートの練習後、1対1、3対3、5対5のセット練習を中心に行っています。

部のメンバーは、お互いプレーの長所・短所を確認し合いながらスキルを高めています。今後は、練習で積み重ねてきたチームワークと技術力を武器に、目標の「3部昇格」を目指します！

OECU Club & Circle 大学・高校のクラブ・サークル活動に迫る!

高校のメカトロニクス部は、顧問の角樋大地先生指導のもと、24人の部員が授業のあと毎日C号館の実習室で活動しています。大会前は休日午前中から集まるほどモノづくり制作に取り組む熱心な生徒が多く、納得のいく作品を作るために家に持ち帰って気づくと朝になっていたこともあるとか。クラブとしての目標が明確にあり、3~7月は「缶サット甲子園」・8月~2月は「ロボカップジュニア(レスキューリーグ)」での優勝に向け取り組んでいます。

レスキューロボット制作は、2年生の山口拓也さんと遠藤暉大さんが機体設計を担当し、スムーズにロボットが動けるよう改良に取り組んでいました。基板設計は2年生の天野慎之輔さん、プログラミング制御は2年生の山本宇恭さんが担当し、チーム一丸となって素晴らしいロボットが完成！「ロボカップジュニア関西ブロック夏のオープン大会2019」で優勝し、「2019ロボカップジュニアジャパンオープン(全国大会)」には2チームが出場することができました。

生徒たちは、仲良くアットホームな雰囲気を楽しみながら技術力を磨いています。クラブの魅力を知ると、学んだことが身につく授業や試験で力を発揮できることです！目をキラキラさせながら話してくれました。可能性をいっぱい秘めたメカトロニクス部の今後の活躍を期待します。



メカトロニクス部からのメッセージ

説明書を読みながら何かを作るのではなく、目的に合わせて自分で考え設計しつくりあげる「モノづくり」を楽しみながら学べるクラブです。ほとんどの生徒が初心者で入部し、卒業時にはスペシャリストになって卒業します。エンジニアとしての第一歩を踏み出しませんか？

Number 01 High School

「第59回大学祭」

11月3日、4日に寝屋川キャンパスで大学祭を開催しました。

大学祭実行委員会を中心に、学生たちはそれぞれの個性を發揮しながら大学祭を盛り上げました。若手女優を招いた「トークショー」やグラウンドでは子どもたちがペットボトルで製作したロケットを飛ばす企画、音楽ライブなどを実施。クイズ王を決めるステージ企画も白熱



した戦いが繰り広げられ、大学祭は終日おおいに盛り上がりしていました。



「AI実践フォーラム2019」を開催



本学の「ICT社会教育センター」は、11月から12月にかけて「AI活用」について機械学習技術と知識記述を総合的に学ぶ講座「AI実践フォーラム2019~各種機械学習ツールと知識記述との連携に向けて~」を駅前キャンパスで4回開催しました。

近い将来、急速に推進される「AI活用」に興味をお持ちの社会人や初等中等教育に携わる教員の方々が参加され、最先端の技術や知識への好奇心に満ちた人々の熱気にあふれていました。

「GPリーグ全国大会」で大阪代表チームが3位に入賞



12月にアリオ川口(埼玉県川口市)で行われた「GPリーグヤマハ発動機プログラミングコロシアム2019令和記念 全国大会」で、本学が指導・幹事校を務める大阪府代表チーム「ハックセイバー」が3位に入賞しました。「GPリーグプログラミングコロシアム」とは、プログラミングやロボット・ゲーム好きな子どもたちが集まり、日本一の小学生サイバースリートを決めるプログラミングイベントで、「エリア代表チーム」が競う全国大会。子どもたちは、本学で学生たちと事前トレーニングを行うなど、準備万端の状態で開催へ臨み、準優勝とわずか1点差の3位入賞という熱戦を展開しました。



「なわフェス'19」

11月24日に四條畷キャンパスで「なわフェス'19」を開催しました。10回目となる今回は学生同士のつながりを強くするとともに、地域の方々や他大学との交流も深めることをテーマに、四條畷キャンパスイベント運営委員会が中心となって多彩なイベントを企画しました。



体育館や校舎ではボードゲームやPCゲーム、iPadゲームなどの体験が行われ、コナミホールでは声優のトークショーを開催。野外ステージではゲームサークルのイベントやストリート部によるDJ・ボイスパーカッションなどを披露しました。



建築学科の学生が製作した椅子を幼稚園へ贈呈

工学部建築学科の学生が隣接する寝屋川市立中央幼稚園の園児たちに、インテリア計画で製作した椅子を贈呈しました。椅子の材料は、寝屋川キャンパス大規模リニューアルに伴い伐採されたキャンパスの「ポプラ」を未来に残すプロジェクトで製材された材料を用いました。昨年の9月から設計図を作成し、11月より製作を開始。学生たちは園児たちに喜んでもらうために創意工夫し、22脚の椅子が完成しました。

安全性をチェックし、今回は園児たちを選んでもらった椅子13脚を贈りました。





2月8日、9日、2019年度デジタルゲーム学科、デジタルアート・アニメーション学科卒業研究・卒業制作展 情報学科特別研究展 医療福祉工学部特別研究展「なわてん」を四條畷キャンパスで開催しました。



左から岡本さん、木村さん

2019年度 なわてん 開催

「なわてん」は、学部での学修の集大成である卒業研究や卒業制作の発表の場です。17回目となる今回も学生たちの個性豊かな作品が勢揃いしたことに加え、医療福祉工学部の特別研究展が新たに参加したこともあり、大勢の来場者で賑わいました。2月9日にはメインイベント「なわてんグランプリ」を開催し、出展された作品の中から、優れた作品にグランプリをはじめ各賞が授与されました。厳正な審査の結果、グランプリには木村剛志さんと岡本宗司朗さん（総合情報学部デジタルゲーム学科）による作品「アニマルサバイバル」が選ばれました。



寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」に協力



2月4日、6日、10日、13日の4日間、寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」が開催され、児童たちのクラブ体験に本学が協力しました。「チャレンジクラブ」とは、同校の4～6年生の児童らが、学習意欲の向上や技術の習得を目的にスポーツや工作などのクラブ活動を体験するイベントで、今年で17回目を迎えます。

各クラブなどに所属する学生たちが講師を務め、参加した児童240人の皆さんは意欲的に活動していました。



建築学科開設2周年作品展を開催

建築学科の開設2周年企画作品展「成長はプロジェクトと共に」の学内展を2月24日～26日、寝屋川キャンパスY号館6階のアトリエで開催しました。

学内展には、学科内選抜の学生一人ひとりが力を注いだ作品が並びました。立体作図や図面模写、建築物の模型など、タイトルのようにプロジェクトと共に成長した学生の力作が展示されました。



教育活動優秀賞の表彰式を執り行いました

3月12日、寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスで、教育活動優秀賞の表彰式を執り行いました。

この表彰は、本学における教育活動の分野において優れた功績を挙げた教育職員を顕彰する「大阪電気通信大学教育活動顕彰制度」に基づき、①教育改善、学生指導、課外活動指導、学内行政、社会活動の内容を総合的に評価し、特に優れた活動をした教員を表彰する「教育活動優秀賞」②優秀賞の表彰が通算して3回目となる教員を表彰する「教育活動特別栄誉賞」の2種類があります。2年目となる今回は16人の教員が「教育活動優秀賞」の対象となり、寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスで執り行った表彰式では、大石利光理事長・学長より賞状が手渡されました。



賞の対象となり、寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスで執り行った表彰式では、大石利光理事長・学長より賞状が手渡されました。

理学療法士、臨床工学技士 各国家試験の結果

2月に実施された2019年度理学療法士国家試験で、医療福祉工学部理学療法学科の学生42人が受験し37人が合格。

また、3月に実施された臨床工学技士国家試験では、医療福祉工学部医療福祉工学科の学生23人が受験し、18人が合格しました。

両学科ともに、国家試験を意識した段階的な学修や、分野別の対策講座、資格学習用のe-learning教材などが充実しており、毎年高い合格率を維持しています。

●理学療法士…運動療法、水治療法、日常生活動作訓練等の理学療法を駆使して、身体機能の回復を図るリハビリテーションを行うことのできる資格を有する者です。理学療法士になるには、理学療法士の養成校を卒業し、理学療法士国家試験に合格する必要があります。

●臨床工学技士…医師、看護師と連携し、病院内の人工透析室(血液浄化業務)、手術室(人工心臓装置の操作、心血管カテーテル業務)、集中治療室(呼吸治療業務など)、MEセンター(医療機器の安全管理・指導業務)で医療業務に従事します。

近年の医療機器の目覚ましい進歩に伴い、医学的、工学的な知識を必要とする専門技術者として医療の重要な一翼を担う医療系国家資格です。

四條畷学園高等学校と 高大特別連携を締結

3月23日、四條畷学園高等学校(大阪府)と高大特別連携に関する覚書を締結しました。この特別連携は、四條畷学園高等学校との友好関係にもとづき、両校の間において教育交流活動を活発に推進するための特別な連携となります。

大阪電気通信大学・四條畷学園高等学校 特別連携に関する協賛調印式



受賞作品一覧



グランプリ

- 「アニマルサバイバル」
木村 剛志、岡本 宗司朗(デジタルゲーム学科)

準グランプリ(2作品受賞)

- 「民族楽器をモチーフにした子供向け宝探しゲーム『ミュージック』の制作」
東雲 貴之(デジタルゲーム学科)
- 「認知症患者・介護者と認知症状の関係に関する音のコンテンツ制作」
中村 奈津美(デジタルゲーム学科)

観客賞

- 「IoT照明によりユーザの没入感を高めたデジタルゲームの制作」
牧 和輝、佐伯 勇輔、木下 直矢(デジタルゲーム学科)

友電会賞(2作品受賞)※総合情報学部対象

- 「地元の民話をテーマとした奥行きのある切り絵作品の制作」
水野 楓(デジタルゲーム学科)
- 「DICOMにおける血管・腫瘍領域分割の精度評価」
上野 貴大(情報学科)

後援会賞

- 「空間認識能力の向上を目的としたパズルゲーム」
小谷 将豊(デジタルゲーム学科)

アゴラ賞

- 「アンセル・アダムの技法を用いた風景写真の制作」
三橋 直人(デジタルゲーム学科)

アゴラ特別賞

- 「個人的な日常生活の中で感じている思いを表現した立体造形」
井長原 剛志(デジタルゲーム学科)

学術研究賞

- 「GitHub Flowを考慮したGit学習Webアプリケーションの開発」
新永 悦司(情報学科)

芸術賞

- 「堺の創作生き物図鑑」
葛原 怜(デジタルゲーム学科)

友電会賞※医療福祉工学部対象

- 多賀 愛(医療福祉工学科)
- 山田 愛美(理学療法学科)
- 小原 直浩(健康スポーツ科学科)

※友電会賞：学業成績・スポーツ・社会奉仕活動を通じた社会貢献等、学科により応じたいと思われる成果をあげた5学部全学科の卒業予定者(各学科1名)に対し、大阪電気通信大学友電会(同窓会組織)から贈られる賞です。

水野特任講師が
日本福祉工学会で論文賞を受賞



水野特任講師(右)

医療福祉工学部医療福祉工学科※の水野裕志特任講師が、11月23日に開催された「第21回日本福祉工学会」で「論文賞」を受賞しました。

論文のテーマは「軟質ボールを測温部にもつ電子体温計を用いた腋窩(えきか)温予測」。病院や家庭で使用されている一般的な「腋窩式電子体温計」は先端が細いため、高齢者の腋窩には密着性が悪く、測定中のズレなどが原因で再測定が頻発し、看護や介護の現場で業務の負担になっています。今回受賞された研究論文はこの「電子体温計」に着目し、高齢者でも簡単に腋窩にフィットできるよう、スポンジなどの軟質素材を取り付けた電子体温計を試作し、その検証結果をまとめたものです。

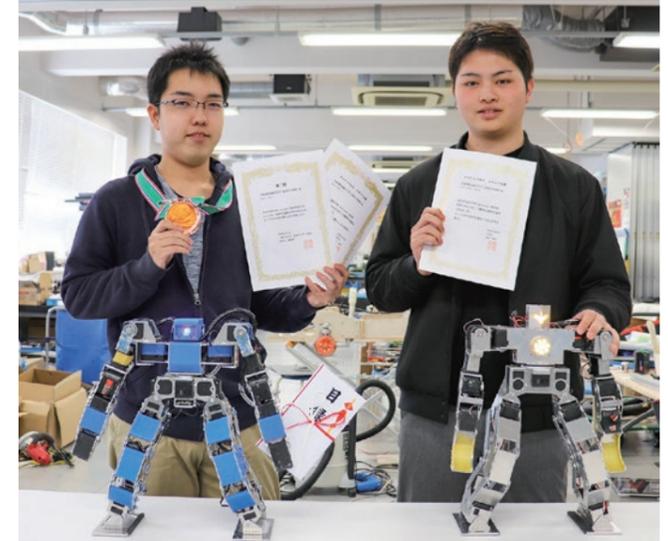
※(現:医療健康科学部医療科学科)



「ROBO-ONE」で自由工房の学生が入賞



2月に日本科学未来館(東京都・江東区)で開催されたヒト型ロボットの格闘技の全国大会ROBO-ONEで、本学自由工房ヒト型ロボットプロジェクトのメンバーが入賞しました。「第36回ROBO-ONE」の予選には自由工房から3人が参加し決勝には2人が進みました。その中で藤本恵汰さん(工学部電子機械工学科3年生)がベスト8に進み、「ダイナミクセル トライアル賞」を受賞。また、「第6回ROBO-ONE auto」には、吉田拓斗さん(工学部機械工学科3年生)が予選を1位で通過し3位入賞。同時に「ダイナミクセル トライアル賞」を受賞しました。



左から吉田さん、藤本さん

自由工房の学生が
「2019Ene-1GP MOTEGI」に出場

11月、ツインリンクもてぎ(栃木県芳賀郡)で開催された「2019 Ene-1 MOTEGI」に、本学自由工房から城健斗さん(工学部電子機械工学科3年生)ら計5人のメンバーが出場しました。「2019 Ene-1 MOTEGI」は、充電式単三電池40本を動力源とした次世代エネルギーカーイベントで出場できる競技用車両は参加者製作によるオリジナル車両です。今年のKV-40クラスでは、上位クラスを含む66チーム中ラップタイムアタックは26位(KV-2クラスで7位、エントリーしている大学・高専・専門学校部門で2位)という好成績を収め、総合成績では3位となりました。



大学院生が「RTミドルウェアコンテスト」でW受賞

12月にサンポートホール高松(香川県)で開催された「RTミドルウェアコンテスト2019」で、澤崎悠太さん(総合情報学研究所修士課程コンピュータサイエンス専攻升谷研究室2年生)の作品が2つの賞を受賞しました。

「RTミドルウェアコンテスト」は、経済産業省が推進するRTミドルウェアの普及のために、日本ロボット工業会・計測自動制御学会・産業技術総合研究所が共同主催するコンテストです。

澤崎さんは、本コンテストに「触覚と3次元視覚を備えたロボットアームのためのプログラミング教材」という作品を応募しました。作品はインターネット上で公開審査されるとともに、同日行われた「計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会」のなかでも発表を行いました。審査の結果、澤崎さんは「ダイナミックトライアル賞」と「グローバルアシスト賞」を受賞し、表彰状と副賞が授与されました。



ロボット技術コンテストで
鄭研究室が優勝



2020年に名古屋で開催される「World Robot Summit(以下WRS)2020」本大会に先立ち、国際ロボット展の併設イベントとして12月19日から21日に開催された「Future Convenience Store Challenge(以下FCSC)トライアル競技会」に鄭研究室のHSRL-CoRチーム(院生1人、4年生5人)が出場しました。

FCSCとは、コンビニエンスストア店舗における各種業務(品出し・入替え、接客など)の自動化を対象としたロボット技術コンテストです。参加者が開発したロボットやインフラを用いて、模擬店舗の中で陳列や廃棄作業のデモンストレーションを行い、開発したシステムによる作業の正確性を競います。

今回の競技会には、WRS2018のFCSC大会の優勝チームを含め全10チームが出場し、HSRL-CoRチームは、陳列廃棄タスクと、トイレ掃除タスクに出場し、トイレ掃除タスクで優勝を果たしました。

実学道場プロジェクトで
資格取得者急増!

多くの学生に資格取得の有効性を呼びかける「実学道場プロジェクト※」の開始以来、資格を取得する学生の数が年々増加しています。そのうち、特に難関とされる資格を取得した学生には「学長賞」が贈られており、2019年度は76人の学生が表彰されました。その他、資格の種類や年次に応じて、404人に学部長賞、372人に学長奨励賞が贈られています。

※実学道場プロジェクト

多くの学生に資格取得の有効性を呼びかけ、資格取得などを通しての知識の定着や達成感を体験することで一層学意欲を高めるための支援プロジェクト。学科の教育内容により資格取得への難易度が異なるため、取得した資格の表彰対象は学生の所属学科により異なります。

2019年度 資格取得者数

- 「学長賞」76名
 - 第一種電気工事士…11名/2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)…4名/2次元CAD利用技術者試験2級…8名/情報処理安全確保支援士試験…1名/ITパスポート試験…1名/基本情報技術者試験…27名/応用情報技術者試験…2名/電気通信主任技術者…1名/工事担任者DD第一種…4名/第一級陸上無線技術士…4名/環境社会検定試験(eco検定)…4名/知的財産管理技能検定3級…2名/第一種ME技術実力検定試験…2名/色彩検定2級…5名

学長賞 受賞者一覧

外谷 光暉	第一種電気工事士	松本 成由	基本情報技術者試験
安藤 太一	第一種電気工事士	岸部 大暉	基本情報技術者試験
岩中 啓起	第一種電気工事士	長廣 瑞	基本情報技術者試験
森 靖温	第一種電気工事士	平居 大志	基本情報技術者試験
八木 大地	第一種電気工事士	西村 颯真	基本情報技術者試験
山下 将吾	第一種電気工事士	岩本 海斗	基本情報技術者試験
前田 有輝	第一種電気工事士	梅津 正浩	基本情報技術者試験
吉田 悠平	第一種電気工事士	芥川 亮	基本情報技術者試験
野村 賢司	第一種電気工事士	田之上 海雷	基本情報技術者試験
福山 史哉	第一種電気工事士	南雲 雄仁	基本情報技術者試験
布野 翔也	第一種電気工事士	矢倉 隼城	基本情報技術者試験
伊藤 啓太郎	2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)	小寺 啓介	基本情報技術者試験
		田中 大翔	基本情報技術者試験
近藤 佑樹	2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)	中條 直人	基本情報技術者試験
		北野 博之	基本情報技術者試験
橋本 智成	2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)	徳田 雄人	基本情報技術者試験
		上山 翼	応用情報技術者試験
前田 直樹	2級電気機器組立て(シーケンス制御作業)		応用情報技術者試験
		田中 智也	電気通信主任技術者
清井 威瑠	2次元CAD利用技術者試験2級		工事担任者DD第一種
更屋 良一郎	2次元CAD利用技術者試験2級	谷口 要央	工事担任者DD第一種
西崎 詩奈	2次元CAD利用技術者試験2級	吉田 圭吾	工事担任者DD第一種
橋元 翼	2次元CAD利用技術者試験2級	西川 弘之	工事担任者DD第一種
古屋 魁	2次元CAD利用技術者試験2級	酒井 太志	第一級陸上無線技術士
横溝 真之介	2次元CAD利用技術者試験2級	秋山 司	第一級陸上無線技術士
小須田 有哉	2次元CAD利用技術者試験2級	水上 嘉貴	第一級陸上無線技術士
波元 玲奈	2次元CAD利用技術者試験2級	村居 稔真	第一級陸上無線技術士
山口 拓海	情報処理安全確保支援士試験	小林 怜生	環境社会検定試験(eco検定)
山下 隆輝	ITパスポート試験	鈴木 研汰	環境社会検定試験(eco検定)
日野 雄貴	基本情報技術者試験	綿銅 裕大	環境社会検定試験(eco検定)
傳田 匠吾	基本情報技術者試験	車 孟澤	環境社会検定試験(eco検定)
我那覇 亮太	基本情報技術者試験	奥野 希美	知的財産管理技能検定3級
徳谷 直軌	基本情報技術者試験	弓場 雄登	知的財産管理技能検定3級
小池 審	基本情報技術者試験	片岡 明俊	第一種ME技術実力検定試験
山村 拓夫	基本情報技術者試験	前田 基喜	第一種ME技術実力検定試験
佐々木 都歌	基本情報技術者試験	牛田 光季音	色彩検定2級
三原 拓之	基本情報技術者試験	音尾 ころこ	色彩検定2級
渡邊 慎之介	基本情報技術者試験	中山 翔太	色彩検定2級
新井 律希	基本情報技術者試験	稲田 亜美	色彩検定2級
井坂 清隆	基本情報技術者試験	井上 綾音	色彩検定2級

学校法人大阪電気通信大学 創立80周年記念事業募金

ご支援のお願い

学校法人大阪電気通信大学は、2021年に創立80周年を迎えます。

本学園は、今後深化するAI・IoTに対して、教育研究環境を更に充実させるため、学園創立80周年記念事業として、大学は寝屋川キャンパス新棟建築整備事業、高等学校は教育設備機器整備事業を行う計画をしております。

各事業にご理解をいただき、何卒ご寄付を賜りますよう、お願い申し上げます。

理事長 大石 利光



寝屋川キャンパス新棟建築整備事業完成イメージ図

1.募金用途および目標額(3億円)

- (1) 寝屋川キャンパス新棟建築整備事業(募金目標額:2億7千万円)
- (2) 高等学校教育設備機器整備事業(募金目標額:3千万円)

2.募金期間 2019年10月1日~2022年9月30日(3年間)

3.募金金額 個人 1口1万円以上 法人・団体 1口10万円以上

- ・できれば複数口のご協力をお願いします
- ・1口未満のご寄付につきましてもありがたくお受けいたします。

学園創立80周年
記念事業募金の
詳細はこちら



寄付金に関する
お問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室
TEL:072-824-1131(代) FAX:072-824-1141 E-mail:bokin@osakac.ac.jp

新棟概要

建築面積:約9,200㎡
延べ床面積:約19,500㎡
高さ:16.555m
階数:地上3階建
構造:鉄骨造(体育館のみ木造)
施設:
1階 事務室、教員室、研究室、
実験室、体育館、会議室、
3D造形先端加工センター
2~3階 教員室、研究室、実験室、
プロジェクトルーム等
時期:
(第1期)2020年6月供用開始予定
(第2期)2022年4月供用開始予定
竣工時期、フロアプラン等は今後の検討により、変更となる場合があります。

学園創立80周年記念事業募金寄付者芳名録

2019年10月1日より募集を開始いたしました学園創立80周年記念事業募金は、皆様からの温かいご支援を受け、2020年3月31日現在で寄付件数218件、寄付総額は9,199,050円となりました。皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

学園創立80周年記念事業募金へご寄付いただいた皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名は、2019年10月1日から2020年3月31日までにご寄付をいただきました方(個人・法人)を掲載いたしました。ご支援、誠にありがとうございました。

●個人

池阪 正史	池宮 達雄	石川 智之	石桁 正士	市谷 浩一郎	居波 幹夫	井上 裕之	猪原 正守
茨木 陽光	伊與田 功	岩野 敬一	上垣 公明	上田 和浩	植田 秀司	魚井 宏高	馬郡 一守
榎本 博行	大石 利光	大久保 敏郎	大澤 恵美子	大野 平	大場 史子	大平 正敏	小川 功晃
小田 富美代	小野 康司	甲斐 千恵美	片岡 裕子	角田 元子	門林 理恵子	金弦 稔	金村 喜八郎
紙本 潤	河合 利幸	川口 雅之	河崎 忠弘	河瀬 和彦	川西 朱美	神崎 和男	木川 栄二
木島 章己哉	北尾 邦子	北澤 一孝	木原 満	木村 和広	木村 安寿	来海 暁	久保 友理恵
河野 卓司	國司 民生	國眼 浩	小島 友二	小林 勝広	小松 周治	米田 祥馬	米谷 恭子
小森 一平	小森 浩二	小森 政嗣	是角 壽一	榊原 和弘	阪口 吉一	坂本 絹子	里内 登
佐野 正彦	澤居 比佐夫	澤口 敬明	塩田 邦成	塩野 泰輔	下村 孝吉	篠原 祥文	清水 さちえ
志村 哲樹	小豆 勉	白井 武司	末弘 剛	杉田 亮	添田 晴生	高岡 大造	高田 一弘
高畑 顯信	瀧川 靖雄	竹田 治英	竹本 信之	田中 宏明	田中 容子	種村 篤	玉井 朗雄
玉城 貞明	辻本 敏行	津野 寛幸	坪内 俊彦	鶴田 信子	寺岡 俊彦	寺西 正光	寺山 直哉
富岡 明宏	長尾 和彦	中嶋 治長	中塚 利夫	中西 勲夫	仲原 正樹	中村 滋彦	中村 佐世
中山 修	二山 直樹	野田 鐘一	登尾 啓史	羽崎 完	濱崎 純一	早坂 昇	林 美記
林 弘之	早野 秀樹	原田 総一郎	東村 宏	平田 貴之	廣田 貢	廣谷 明	福田 武
福田 義久	福原 雄	藤川 智彦	藤田 宏道	藤本 明	藤原 公彦	船越 亨	古市 雅子
古崎 晃司	堀井 大輔	本庄 隆雄	前田 賢一	前野 智子	正木 英雄	松尾 浩数	松原 明
松本 壮司	真鍋 暁弘	三上 哲夫	光本 浩士	宮尾 純子	村上 眞也	村上 豊裕	森井 房和
森本 正治	安田 正巳	山口 重之	山口 朝弘	山口 浩樹	山崎 貞彦	山崎 可員	山下 文裕
山菅 伸輝	山中 敦司	山野 邦浩	山本 研一	山本 剛宏	山本 靖紀	湯口 恭介	箭野 佳照
吉川 隆章	吉田 元司	渡邊 修					

●法人

株式会社オフィス21	株式会社さくらコーポレーション	有限会社エコー
------------	-----------------	---------

一般・継続募金寄付者芳名録

一般・継続募金は、皆様からの温かいご支援を受け、2019年度は寄付件数304件、寄付総額は1,707,020円となりました。皆様の温かいご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

一般・継続募金へご寄付いただいた皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。ご芳名は、2019年8月1日から2020年3月31日までにご寄付をいただきました方(個人・法人・団体)を掲載いたしました(2019年4月1日~7月31日までにご寄付をいただきました方は前号の学報に掲載済)。

ご支援、誠にありがとうございました。

●個人

東 尚子	石本 一平	茨木 陽光	植田 一正	江口 誠	越後 富夫	海老原 聡	王 少鋒
奥田 裕	勝間 智康	上川 直紀	川口 雅之	北田 由博	塩田 邦成	末弘 剛	高橋 和子
多田見 寧子	田中 孝徳	寺西 正光	中野 正三	中村 文俊	新川 拓也	早野 秀樹	平田 貴之
福原 雄	藤川 智彦	伏本 和人	不破 信勝	堀井 大輔	前野 智子	松浦 秀治	萬代 武史
山崎 敏之	山下 文裕	吉川 茂	吉川 省吾	渡邊 俊彦			

●法人

株式会社リモデルハウス

●団体

大阪電気通信大学
高等学校同窓会
大阪電気通信大学友電会
京都支部

※各芳名録はそれぞれ50音順、掲載承諾分のみ

人事異動

新任教職員

10月1日付

職員



小谷有香
広報部広報課



松本拓也
入試部入試課

1月1日付

職員



安川沙織
学務部学務課

4月1日付

工学部



吉岡真弥
機械工学科
教授



黒河通広
機械工学科
特任教授



外山真理
基礎理工学科
特任講師

4月1日付

情報通信工学部



江原康生
情報工学科
教授



阪口昌彦
情報工学科
准教授

医療健康科学部



小出卓哉
医療科学科
特任講師



藺田大地
健康スポーツ科学科
特任講師

総合情報学部



由良泰人
ゲーム&メディア学科
教授

共通教育機構



大村基将
人間科学教育
研究センター
特任講師



關義親
数理科学教育
研究センター
特任准教授

各センター



斉藤幸一
教育開発
推進センター
特任講師



小関啓子
メディア
コミュニケーションセンター
特任講師

高等学校



阿部環
教諭(国語)



鍵谷鷹
教諭(理科)



白木隆弘
教諭(工業)



吉田雅江
教諭(工業)

2020年度 学園の主な役職(4月1日現在)

学校法人理事会

理事長

大石利光(大学学長)

理事

福島淳行(高校校長)

寺西正光(法人事務局長)

塩田邦成(大学事務局長)

新川拓也(副学長)

森 幸治(副学長)

榎本博行(工学部長)

岡本清孝
(大阪電気通信大学友電会副会長)

千松哲也
(総務部長・経営企画室長・広報部長)

加藤好文
(京阪ホールディングス
代表取締役会長CEO)

河崎忠弘
(元日産自動車販売協会専務理事)

岸岡 清
(元大阪電気通信大学
工学部電子機械工学科教授)

北田由博(北田工業所代表)

都倉信樹(元大阪電気通信大学学長)

山口重之
(元京都工芸繊維大学副学長、名誉教授)

監事

木村安壽
(木村公認会計士事務所所長)

松宮 徹(元新日本製鐵フェロー)

大学

学長 大石利光

副学長(教育担当) 森 幸治

副学長(四條畷キャンパス担当) 新川拓也

工学部長 榎本博行

情報通信工学部長 越後富夫

金融経済学部長 袖山則宏

医療健康科学部長 赤滝久美

総合情報学部長 渡部隆志

共通教育機構長 佐野正彦

工学研究科長 川口雅之

医療福祉工学研究科長 新川拓也

総合情報学研究科長 登尾啓史

学務部長 柴垣佳明

学務部事務部長 不破信勝

就職部副部長 魚井宏高

入試部長 松村雅史

入試部副部長 竹内和広

図書館長 小見山彰

教育開発推進センター長 森 幸治

メディアコミュニケーションセンター長
兼宗 進

メディアコミュニケーションセンター
副センター長

上善恒雄

エレクトロニクス基礎研究所長 松浦秀治

メカトロニクス基礎研究所長 入部正継

情報学研究所長 来海 暁

実験センター長 富岡明宏

3D造形先端加工センター長 入部正継

国際交流センター長 上善恒雄

研究連携推進センター長 新川拓也

地域連携推進センター長 中田亮生

総合学生支援センター長 伊與田功

スポーツ強化センター長 金田啓稔

ICT社会教育センター長代理 兼宗 進

先端マルチメディア合同研究所長

寺山直哉

高校

校長 福島淳行

副校長 杉本純彦

教頭 内田 悟

教頭 松原健太郎

事務長 望月博光

教務部長 辻村 繁

生活指導部長 唐原 大

進路指導部長 岡村穂高

入試部長 白石 新



80年間、 目立つ大学より 役立つ大学。

学校法人 大阪電気通信大学は、
2021年、学園創立80周年を迎えます。
本学園は戦前の1941年に創設された
無線技術を学ぶ東亜電気通信工学校を起源とし、
他大学に先駆けて、実学を身につけた
有為な人材を育成することを目的に建学。
80年間、まさに社会に役立つ
人材の育成に努めてきました。
この先も、目立つ大学より役立つ大学として
世の中に貢献していきたい。
さらなる実学を発展させる、
新生・大阪電気通信大学にご期待ください。

全学部で
情報教育を進化させ、
AI・IoT時代の
新たな実学をめざす。

1年次から
ICT関連資格の取得を推進、
これから生きるための
情報活用能力を養成

来るAI時代をサポート！
「ICT社会教育センター」で
情報教育技術を活用した
教育・研究成果を社会に還元

人、モノ、コトとの出会いにあふれた
フルオープンな学びの空間に刷新！
新たな学びのスタイルを生み出す
寝屋川キャンパス大規模リニューアル



第一期 2020年6月
第二期 2022年春
竣工予定



つなぐ知 かなえる技

学校法人 大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

大阪電気通信大学

- 工 学 部 電気電子工学科 / 電子機械工学科 / 機械工学科 / 基礎理工学科 / 環境科学科 / 建築学科
- 情報通信工学部 情報工学科 / 通信工学科
- 医療健康科学部 医療科学科 / 理学療法学科 / 健康スポーツ科学科
- 総合情報学部 デジタルゲーム学科 / ゲーム&メディア学科 / 情報学科
- 金融経済学部 資産運用学科

大阪電気通信大学高等学校

- 普 通 科 アドバンスコース (選抜) / 進学総合コース / メディア情報コース / 健康スポーツコース
- 工 学 科 理数コース (特進) / ロボット機械コース / IoT情報通信コース / 医療電子コース / デジタルゲーム開発コース

情報教育先端事例

<https://www.osakac.ac.jp/special/ict/>
紹介特設 web サイト **OPEN!!**

